

JA 山口厚生連

長門総合病院

病院概要

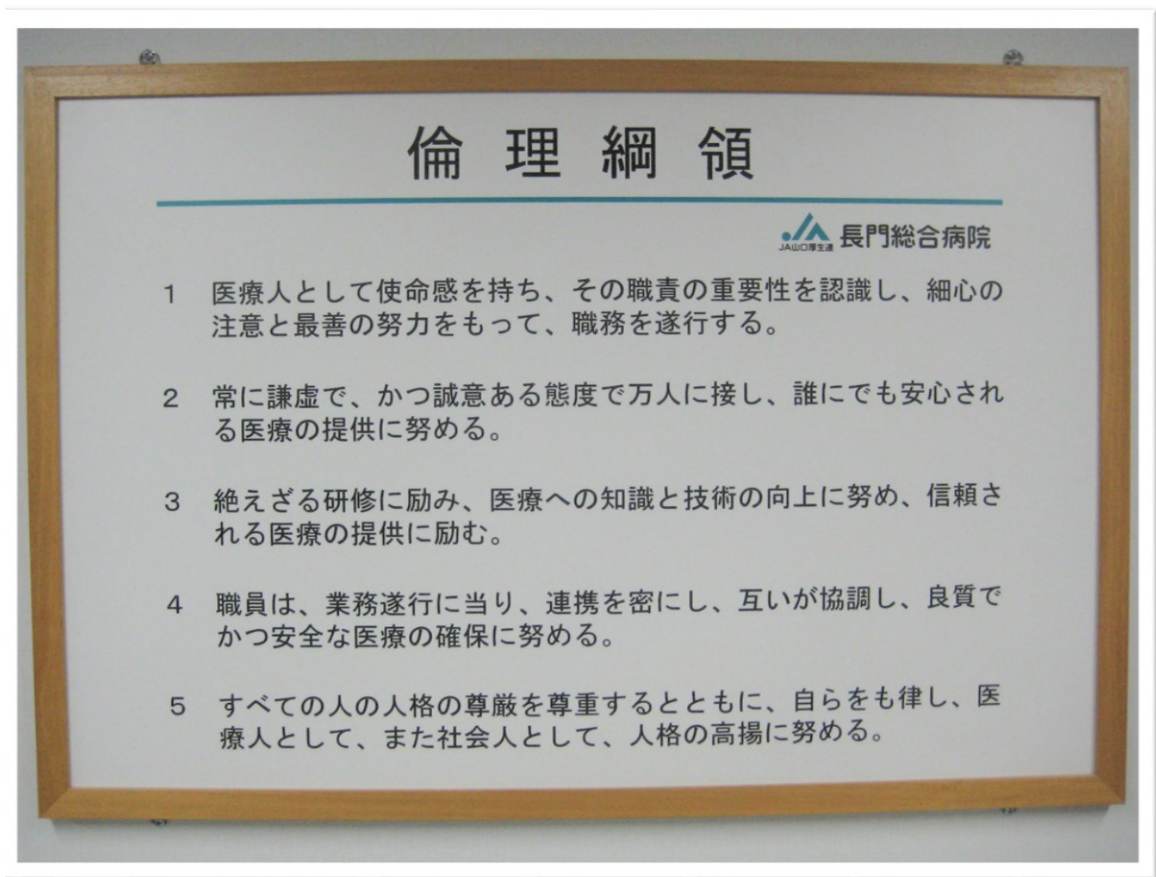


基本理念

「信頼される病院」をめざして

医療事業活動・健康管理活動・介護福祉事業活動を通じて、地域の方々に愛され、信頼される病院を目指します。

倫理綱領



沿革

昭和 19 年 8 月 12 日大津郡仙崎町に農業会長門病院として発足。各地に診療所を開設した。昭和 23 年 8 月山口県厚生農業協同組合連合会の設立と同時に移

管され、昭和 26 年深川町への移転を経て、昭和 47 年現在地に鉄筋コンクリート 4 階建の近代的病院として生まれ変わった。

その後、患者数の増加に伴い、検査棟の増築を始めとする施設の整備、医療の進歩に対応する医療機器・設備の充実を図ってきた。また、患者ニーズの多様化に対応するため、診療科の拡大、診療体制の安定充実に努め、計画的に増床を進め、昭和 59 年には鉄筋コンクリート 5 階建の東館の落成をみた。高齢者医療にも力を入れ、昭和 60 年には老人デイケアセンターを設置し、リハビリテーション機能の向上も図った。続いて、北浦地域の基幹病院としての機能整備に着手し、平成 7 年に山口県立萩看護学校実習施設を併設、看護基準も 2.5 対 1 看護を取得した。またさらに、施設の狭隘化への対応と患者アメニティの向上のため、6 人室の解消及び 1 床あたりの床面積の拡大を目的とした病棟増改築工事を行い、平成 10 年 9 月に西館が完成した。

地域住民の高齢化、第 4 次医療法の改正、長期療養の必要にも迫られ平成 14 年 7 月に 5 階病棟を一般病棟から療養病棟へと転換し、更に平成 15 年 11 月には介護療養病棟 26 床と医療療養 7 床の増床を行い、平成 19 年より在宅医療へと目を向け、訪問リハビリ及び訪問看護ステーションを開始し、地域医療福祉連携室の設置をおこなった。

介護病床は平成 20 年 2 月を以って医療療養病棟へと転換したが、更なる看護の充実を図るべく、平成 20 年に 7 対 1 看護基準を取得した。

がん診療の充実、均てん化を図るべく、平成 20 年 11 月にがん診療連携推進病院の指定を受け、平成 21 年 6 月から外来点滴室の運用を開始した。

団塊の世代が 75 歳以上の後期高齢者となる 2025 年問題に向けて、平成 26 年 3 月に山口県厚生連将来ビジョンを策定し、平成 27 年 9 月から本館 3 階病棟を 38 床の地域包括ケア病棟に転換した。同時期に山口県は各医療圏の地域医療構想の策定に動き出し、当医療圏でも地域医療構想策定協議会が発足した。

山口県地域医療構想は平成 28 年 7 月にまとめられ、構想の実現に向けて平成 29 年 12 月に長門総合病院公的医療機関等 2025 プランを策定した。平成 26 年 12 月に実施した耐震診断で耐震基準を満たさないことがわかった本館病棟建替え計画を 2025 プランに盛り込み、地域医療介護総合確保基金からの助成に向けて動いた。

平成 31 年 1 月から令和 3 年 7 月の間に実施した本館病棟増改築工事において、放射線治療棟・本館東棟・本館中央棟が完成し、急性期機能と回復期機能の整備、充実を行った。この工事期間中の令和元年 7 月に病床数の変更を行い、一般病床 204 床・地域包括ケア病床 40 床・医療療養病床 53 床・感染症病床 8 床の 305 床となった。

令和元年後半、中国武漢市から全世界に拡大した新型コロナウイルス感染症は令和 2 年に入ると日本でも感染が広がり、令和 2 年 7 月に当院



(令和 3 年 7 月に竣工した本館病棟)

でも初の入院患者を受け入れた。令和4年5月から令和5年5月の間は、本館3階40床を新型コロナウイルス感染症の専用病床とし、圏域に限らず県内全域より入院患者を受け入れた。

令和4年5月には、当院初の外国人雇用として、ミャンマーの特定技能看護補助者を3名採用した。

令和5年7月～9月の間に実施した東館3階病棟改修工事では、限られた医療資源を集約し、持続可能かつ効率的で質の高い急性期医療を確保する為に、小児科と産婦人科の病室10室を個室化し、各室に洗面台、トイレ、シャワーを整備した。

令和5年10月、許可病床数を305床から260床にスリム化。長門保健医療圏地域医療構想調整会議では、将来的に当地域では急性期病床と慢性期病床が過剰になるとの予測があり、今後の医療需要を見据え、調整会議での合意を得て急性期病床5床、慢性期病床40床の削減を行った。

今後も、地域の急性期医療・回復期医療・慢性期医療の多面を担い、公的医療機関としての責務を果たすべく努力していく。

年 譜

昭和 19 年 8 月	「山口県農業会長門病院」創立（大津郡仙崎…現在長門市仙崎）
昭和 23 年 8 月	農業会解散→山口県厚生農業協同組合連合会創立 「山口県厚生農業協同組合連合会長門総合病院」となる
昭和 26 年 8 月	公的医療機関の指定を受ける
昭和 26 年 12 月	正明市駅前（現長門市駅）に新築移転（木造 2 階）
昭和 29 年	大津郡内 4 町村（深川町、仙崎町、通村、俵山村）合併し「長門市」となる
昭和 32 年	診療機能の整備充実を行い「総合病院」の承認を受ける
昭和 47 年 11 月	現在地へ移転、全面改築鉄筋コンクリート 4 階建（一般 169 床、伝染 22 床）
昭和 50 年 10 月	検査棟増築（昭和 62 年病理検査室増築）
昭和 56 年 6 月	人工腎臓透析を開始
昭和 59 年 5 月	東館増築鉄筋コンクリート 5 階建（一般 250 床、伝染 22 床）
昭和 60 年 5 月	老人デイケアセンター落成（運動療法 昭和 61 年 2 月承認）（デイケア 平成 2 年 6 月 1 日承認）
昭和 63 年 4 月	一部増改築 東館増築（MRI 室、放射線科、2 階、3 階）本館（更衣室、製剤室改修）会議室増築
平成元年 7 月	神経内科開設
平成元年 10 月	脳神経外科開設

平成元年 10 月	東館 3 階（産婦人科・小児科）特三類看護承認（特三 40 床、特二 210 床）
平成 4 年 7 月	増床 18 床、（一般 268 床、伝染 22 床）
平成 7 年 3 月	土地造成工事起工式（平成 7 年 1 月 26 日土地取得 6,368 m ² ）
平成 7 年 7 月	看護学校実習施設、看護婦宿舎起工式（平成 8 年 3 月 18 日竣工）
平成 7 年 11 月	新看護基準 2.5 対 1A 取得
平成 7 年 12 月	増改築工事起工式 第 1 期工事、エネルギーセンター棟着工（平成 8 年 9 月 2 日竣工）
平成 8 年 10 月	第 2 期工事、西館着工（平成 9 年 10 月 28 日竣工）
平成 9 年 11 月	第 3 期工事、本館改修着工（平成 10 年 8 月 31 日竣工）
平成 10 年 9 月	本館増改築工事落成
平成 11 年 4 月	感染症新法の施行により、伝染病床 22 床を感染症病床 8 床に変更
平成 12 年 7 月	新看護基準 2 : 1、一般病棟 I 群入院基本料 1 を取得
平成 14 年 7 月	5 階病棟を療養病床に変更、（一般 210 床、感染症 8 床、療養 58 床）
平成 15 年 11 月	介護療養病床 26 床、医療療養病床 7 床の増床
平成 16 年 11 月	オーダーリングシステム稼働、中央採血室運用開始
平成 18 年 9 月	訪問リハビリテーションの開始
平成 19 年 6 月	地域医療福祉連携室の設置、訪問看護ステーションの開設
平成 20 年 2 月	介護療養 26 床を医療療養へ転換（一般 210 床、医療療養 91 床、感染症 8 床 計 309 床）

平成 20 年 5 月	7 対 1 一般病棟入院基本料の取得
平成 21 年 5 月	外来化学療法室の設置
平成 24 年 4 月	健診センターの改修
平成 25 年 2 月	オーダーリングシステムの更新（フルオーダーリングの開始）
平成 25 年 10 月	在宅ケア支援センターの設置（訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション、居宅介護支援事業所）
平成 25 年 11 月	眼科外来移転改修
平成 27 年 3 月	地域がん診療病院の指定
平成 27 年 9 月	本館 3 階病棟を地域包括ケア病床に転換（医療療養 91 床のうち 38 床を運用変更）
平成 29 年 2 月	外国人医師等臨床修練病院の指定を受け、外国人医師の受け入れを開始
平成 30 年 6 月	リウマチ科開設
平成 31 年 1 月	増改築工事着工、放射線治療棟の建設開始（令和元年 9 月落成）
令和元年 7 月	公的医療機関等 2025 プランに沿って病床を削減（一般 204 床、地域包括ケア 40 床、医療療養 53 床、感染症 8 床 計 305 床）
令和 2 年 5 月	新本館東棟落成（5 月 7 日運用開始）
令和 3 年 5 月	新本館中央棟落成、新手術室完成（5 月 6 日運用開始）、東館 2 階改修工事開始
令和 3 年 6 月	電算システム更新
令和 3 年 7 月	平成 31 年 1 月に着工した一連の増改築工事竣工

令和4年4月	山口大学内科専門研修において特別連携施設から教育関連病院への引き上げ
令和4年5月	ミャンマーの特定技能外国人看護補助者3名を採用
令和4年5月	本館3階40床（地域包括ケア病床）を新型コロナ即応病床へ運用変更
令和5年5月	本館3階40床を地域包括ケア病床として運用再開
令和5年7月	東館3階病棟の全室個室化改修工事開始
令和5年8月	令和4年4月以降、循環器内科、麻酔科、病理診断科を標榜追加
令和5年10月	病床再編を行い305床から260床に（一般159床、地域包括ケア40床、医療療養53床、感染症8床 計260床）
令和5年11月	電子カルテ運用開始

施設概要

令和6年4月1日現在

開設者

山口県厚生農業協同組合連合会 代表理事理事長 大亀 浩司

管理者

理事兼病院長 村松 慶一

指定

救急告示病院 病院群輪番制病院
 地域がん診療病院 災害拠点病院 第二種感染症指定医療機関
 臨床研修指定病院（協力型） 外国人医師等臨床修練指定病院

標榜診療科

（全18診療科 ※は非常勤科）
 内科 ※脳神経内科 小児科 外科 整形外科 ※脳神経外科 産婦人科
 耳鼻咽喉科 眼科 ※皮膚科 泌尿器科 放射線科 リハビリテーション科
 リウマチ科 循環器内科 ※麻酔科 ※病理診断科 消化器外科

病床数

260床
 一般病床159床 地域包括ケア病床40床 医療療養病床53床
 感染症病床8床

入院基本料

一般病床・感染症病床	急性期一般入院基本料2	167床
地域包括ケア病床	地域包括ケア病棟入院料2	40床
療養病床	療養病棟入院基本料1	53床

病棟構成

病床区分	一般病床				療養病床	
	急性期				回復期	慢性期
入院基本料	急性期一般入院基本料2				地域包括 ケア病棟 入院料2	療養病棟 入院基本 料1
病棟	2階	3階	4階	感染症	本3階	5階
病床数	50	56	53	8	40	53

1日平均患者数（令和5年度実績）

外来 550名 入院 222名

併設事業所

居宅介護支援事業所 訪問看護ステーション 県立萩看護学校実習施設

職員数（令和6年4月実績 非常勤医師・派遣職員を除く）

医師	看護職員	薬剤師	診療放射線技師	臨床検査技師	PT・OT・ST	管理栄養士	臨床工学技士
29	198	11	11	19	25	6	4
視能訓練士	社会福祉士	介護福祉士	事務員	調理員	看護補助者	その他	合計
2	4	5	71	14	34	8	442

診療科別医師数（令和6年4月実績）

	内科	脳神経内科	小児科	外科	整形外科	脳神経外科	皮膚科	泌尿器科	産婦人科
常勤	9	0	2	4	4	0	1	3	3
非常勤	0.98	0.30	0.40	0.18	0.15	0.35	0.20	0.45	0.73
	眼科	耳鼻咽喉科	放射線科	麻酔科	病理検査				合計
常勤	0	2	1	0	0				29
非常勤	1.93	0.30	0.80	0.80	0.45				8.00

全館のご案内

5F			入院室			
4F		入院室	入院室		管理部門	
3F		入院室	入院室		入院室	管理部門
2F	応接室 小会議室 大会議室	入院室	人工透析室		泌尿器科 産科・ 婦人科 皮膚科 検査室	手術室
1F	運動療法室 作業療法室 在宅ケア支援 センター	整形外科 リウマチ科 耳鼻咽喉科 小児科 眼科 脳神経外科 脳神経内科 言語聴覚 療法室 診療情報 管理室 外来点滴室	放射線科 健診センター 栄養相談室 内視鏡室 放射線部	放射線 治療室	内科 外科 救急処置室 中央採血室 薬剤科 事務室 総合受付 休日・ 夜間受付 ATM	地域医療福祉 連携室 売店 正面玄関
	リハビリ テーション棟	西館	東館	放射線 治療棟	本館東棟	本館中央棟

○本館東棟・本館中央棟



《1階 正面玄関ホール》



《1階 地域医療福祉連携室》



《1階 売店》



《1階 中央採血室》



《1階 外来》



《1階 救急処置室》



《2階 手術部》
第1～5の5部屋を
配置。第4手術室は
無菌手術室仕様。



《2階 外来》



《2階 研究検査科》



《3階 地域包括ケア病棟入院室》



《3階 特別入院室》

○東館・放射線治療棟



《1階 放射線部受付》



《1階 放射線治療診察室》



《1階 健診センター待合室》



《1階 内視鏡室》



《2階 人工透析室 ベッド数30》



《3階 小児科入院室》

○西館・リハビリテーション棟



《1階 外来》



《1階 外来》



《1階 外来点滴室》



《2階 特別入院室》



《1階 在宅ケア支援センター》



《1階 リハビリテーション科》



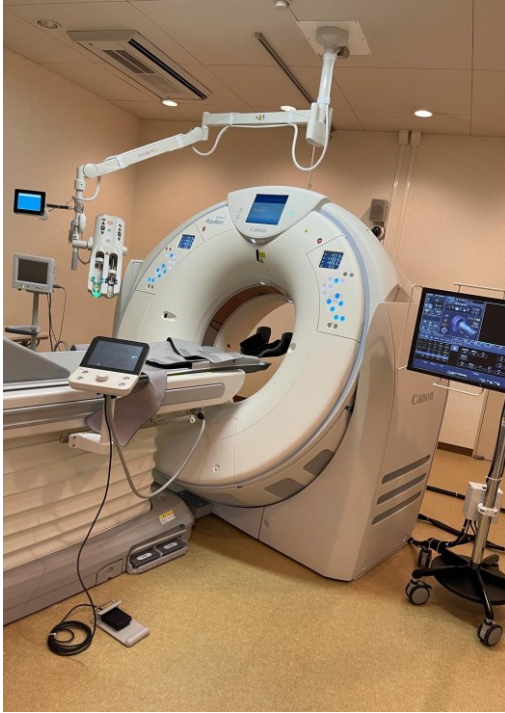
《3階 デイルーム》

主要医療機械装置

品名	規格	写真
高精度放射線治療装置	VARIAN Vital Beam	㊸
全身用 X 線 CT 装置 80 列	キャノンメディカルシステムズ Aquilion primeSP/iEdition	㊹
全身用 X 線 CT 装置 16 列	キャノンメディカルシステムズ Aquilion lb.	㊺
超電導磁気共鳴断層撮影装置	東芝メディカル Vantage Titan 1.5T cS Edition	㊻
デジタルガンマカメラ	東芝メディカル E・CAM Signature	
デジタル X 線テレビ装置	キャノンメディカルシステムズ Astorex i9	㊼
多目的デジタル X 線テレビ装置	キャノンメディカルシステムズ DREX-UI80 U1timax-i	㊽
乳房 X 線撮影装置	東芝 MGU-100D	
病院情報システム	NEC MegaOak-MIRAI/AZ 他	
患者監視装置	日本光電医用テレメータ WEP-1400 他	
超音波診断装置	日立 LISENDO 880 LE 他	
一般 X 線撮影間接変換 FPD 装置	富士フイルムメディカル CALNEO Smart	
硝子体手術装置	日本アルコン Constellation	
手術用顕微鏡	カールツァイス OPMI PENTERO 800	
眼科手術用顕微鏡	カールツァイス Lumera 700	
超音波白内障手術装置	エイエムオージャパン Signature	
外科用 X 線 TV システム	島津製作所 OPESCOPE ACTENO 他	

全身麻酔装置	ドレーゲル Fabius plus 他	
持続緩徐式血液浄化装置	旭化成メディカル ACH-Σ	
多項目自動血球分析装置	ベックマンコールター DxH 900-2S	
生化学自動分析装置	日本電子 JCA-ZS050	
採血管準備装置	テクノメディカ BC-ROBO-8000RFID/T62	
全自動尿中有形成分分析装置	シスメックス UF-5000	
透析用患者監視装置	ニプロ NCV-3SH	
ラジオ波発生装置	センチュリーメディカル クールチップ RFA	
ホルター心電図解析装置	フクダ電子 SCM-8000	
シャワー式介護入浴装置	パラマウントベッド	
鏡視下手術システム	オリンパス VISERA ERITE2 他	

Ⓑ



Ⓒ



取得日 令和2年12月25日 16列は主に放射線治療計画用として使用
 令和2年度撮影人数 6,014

Ⓐ



取得日 令和2年3月31日
 令和2年度治療延べ人数 1,323

Ⓓ



取得日 平成28年10月31日
 令和2年度撮影人数 2,365

Ⓔ



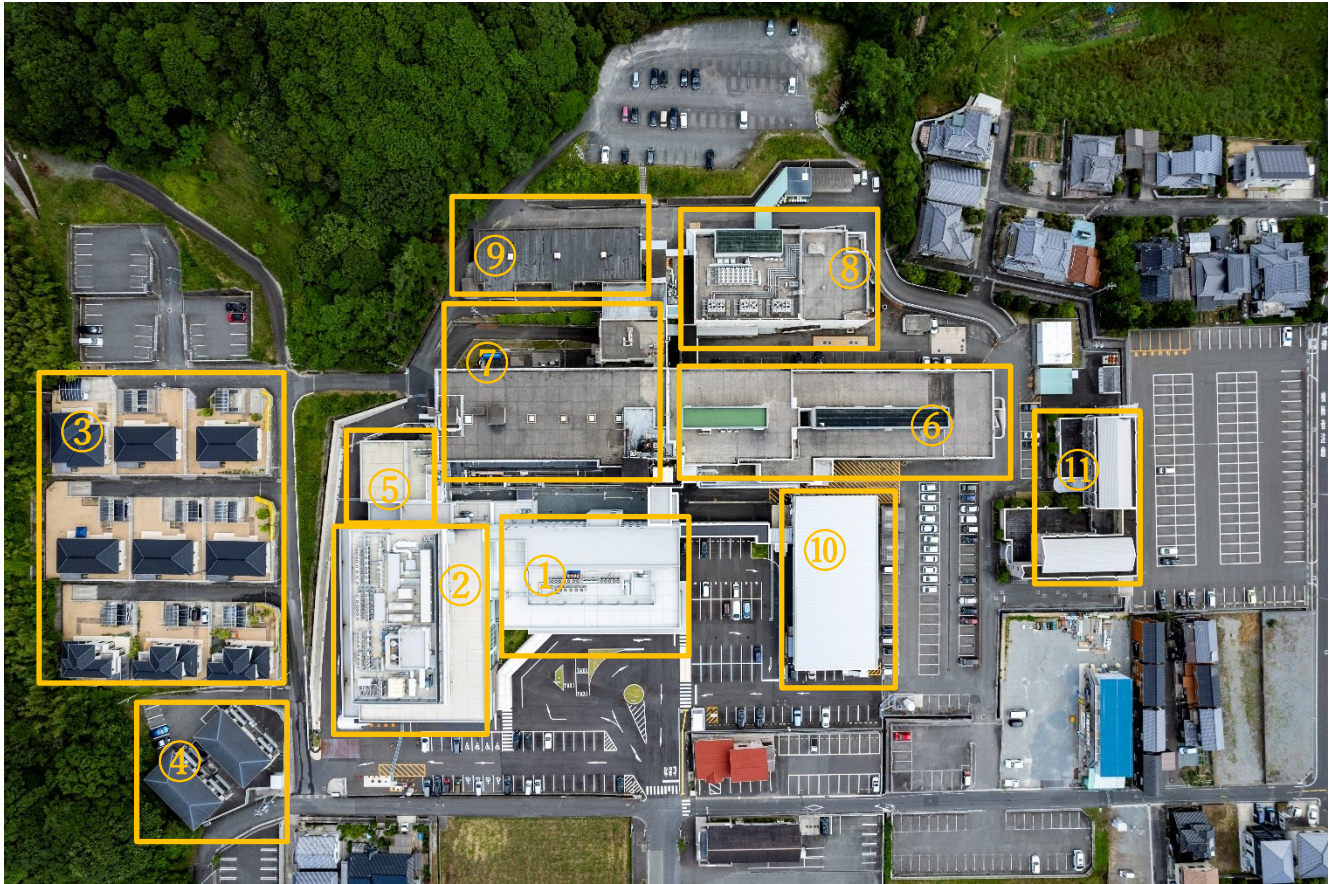
取得日 令和4年3月31日

Ⓕ



取得日 令和3年12月28日

建物概要



名称	構造規模	建築年度	延べ面積	写真
本館中央棟	鉄筋コンクリート造 3階	2021年	2629.87 m ²	①
本館東棟	鉄筋コンクリート造 4階	2020年	5584.59 m ²	②
医師住宅 9号	軽量鉄骨造	2015年	112.41 m ²	③
医師住宅 A・B棟	軽量鉄骨造	2012年	477.80 m ²	④
医師住宅 1～8号	軽量鉄骨造	2011年	859.12 m ²	③
放射線治療棟	鉄筋コンクリート造 2階	2019年	339.50 m ²	⑤
東館	鉄筋コンクリート造 5階	1984年	6452.46 m ²	⑥
西館	鉄筋コンクリート造 5階	1997年	6032.88 m ²	⑦

エネルギー棟	鉄筋コンクリート造 2 階	1996 年	1778.49 m ²	⑧
感染症病棟	コンクリートブロック造 1 階	1981 年	441.29 m ²	⑨
リハビリテーション棟	鉄骨造 2 階	1985 年	1408.44 m ²	⑩
看護師宿舎	鉄筋コンクリート造 3 階	1996 年	1280.94 m ²	⑪
西館待合ホール	鉄骨造	2020 年	35.69 m ²	
渡り廊下	鉄筋コンクリート造・鉄骨造		261.66 m ²	
プロパン庫 他	コンクリートブロック造・鉄骨造		53.40 m ²	
合計			27748.54 m ²	



山口県厚生農業協同組合連合会 長門総合病院

〒759-4194 山口県長門市東深川 85 番地

TEL0837-22-2220

Fax0837-22-6542

mail : info@nagato-hp.jp

